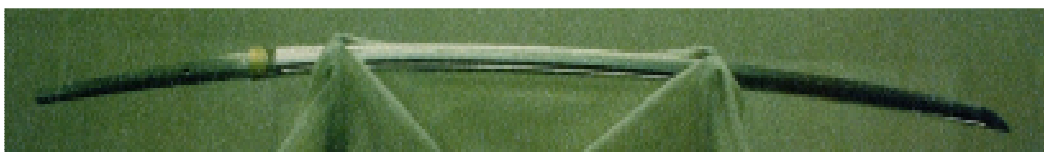


デザイン・工芸

当館収蔵のデザイン作品で最も特筆すべきは、日本のモダンデザインの先駆者・杉浦非水(1876-1965/松山市出身)のコレクションです。これらは2004(平成16)年度に収蔵され、作品・関連資料合わせて7,000点に及ぶ膨大なもので、もとは非水自身の手元に保管されていたものであり、彼の制作の背景や人物像がうかがい知れる大変ユニークなものです(※杉浦非水については、別項参照)。

その他、工芸分野で主要なものとしては、愛媛出身かつ刀匠として初の重要無形文化財保持者(人間国宝)となった高橋貞次(1902-1968/松山市出身)による刀剣、近代文人画の巨匠・富岡鉄斎(1836-1924)とその妻・春子(1847-1940/伊予市出身)の共作による茶器、江戸時代後期の京焼作家・奥田颯川(1753-1811)の台鉢などが挙げられます。



高橋貞次 TAKAHASHI Tadatsugu

《備前伝刀》

1958(昭和33)年

全長 98.0cm



富岡鉄斎・春子 TOMIOKA Tessai, Haruko

《梅花絵染付平茶碗》

1923(大正12)年

陶器

高さ 14.1cm、口径 20.5cm、底径 12.2cm



奥田颯川 OKUDA Eisen

《呉須赤絵写台鉢》

江戸時代後期

磁器

高さ 5.5cm、口径 11.5cm